2023 年度

内航船によるフィーダーコンテナ輸送・内貿貨物輸送　調査結果報告書

日本内航海運組合総連合会

安定・効率輸送推進委員会

フィーダーコンテナワーキング・グループ

2024 年 10 月

目　次

1．　内航船によるフィーダーコンテナ輸送実績調査結果について

(1)　回答について……1

(2)　船種について……1

(3)　事業者名及び対象船舶について……2

(4)　過去 5 年間の輸送実績推移……3

(5)　地域別輸送量の推移……4

(6)　港別取扱量（積揚の合計）の前年度との比較……6

(7)　各事業社からの特記事項……7

2．　内航フィーダー概況トピックス……8

3．　韓国フィーダーの現況（未更新）……9

4．　内貿貨物調査結果について……10

別紙付録：

◆事業者への調査依頼書・回答用紙

◆積地・揚地による集計結果　（コンテナ（合計・実入・空）別とコンテナ（20FT・40FT）別）

◆内貿貨物の積地・揚地による集計結果（〃）

1． 内航船によるフィーダーコンテナ輸送実績調査結果について

日本内航海運組合総連合会 安定・効率輸送推進委員会 フィーダーコンテナワーキング・グループにおいては、内航海運事業者、旅客フェリー（長距離フェリー）事業者を対象に、2012 年から毎年度の輸送実績の調査を行ってきた。

今年度の調査については、2024 年 4 月～5 月の期間において、調査対象事業者 9 社に対して輸送実績の調査を行った。

また、物流の 2024 年問題を受け、今年度より、内貿コンテナ貨物輸送調査についても実施した。

本章では、内航船によるフィーダーコンテナ輸送実績調査結果について示す。

(1) 回答について

調査を依頼した 9 社（2022 年度 10 社）のうち、9 社から回答を得られた。

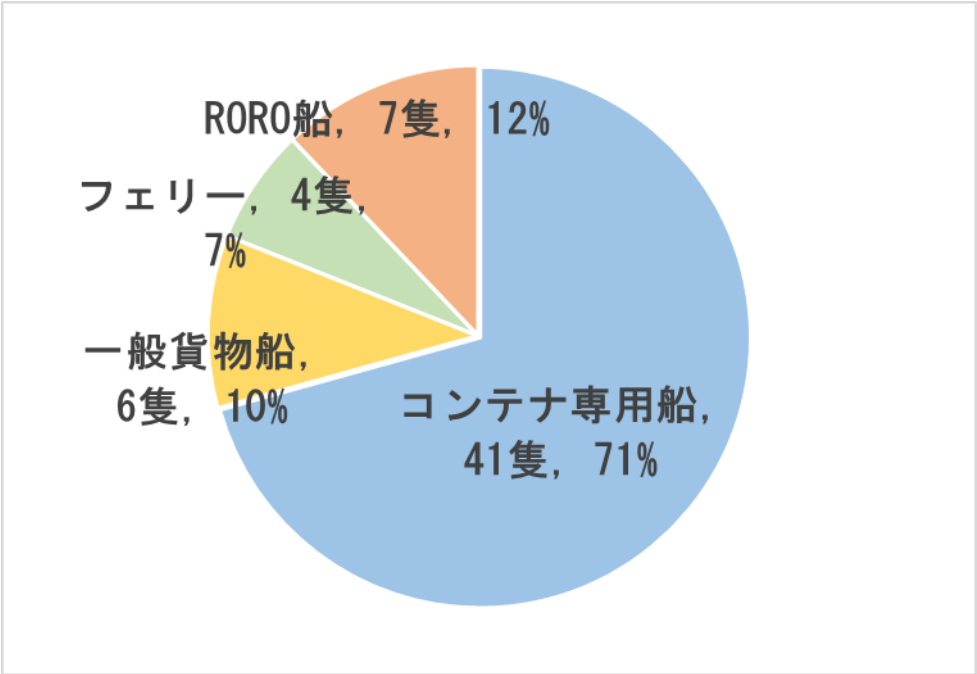
(2) 船種について

コンテナ専用船 41 隻（2022 年度 40 隻）一般貨物船 6 隻（2022 年度 7 隻）、フェリー4 隻（2022 年度 7 隻）、RORO 船 7 隻（2022 年度 7 隻）であり、合計 58 隻（2022 年度 61 隻）となり、前年度比で 3 隻減少の 95%となった。

表 1．1 船種別隻数

船種	隻数		前年度比
	2023年度	2022年度	
コンテナ専用船	41隻	40隻	103%
一般貨物船	6隻	7隻	86%
フェリー	4隻	7隻	57%
RORO船	7隻	7隻	100%
合計	58隻	61隻	95%

図 1．1 船種別隻数割合



(3) 事業者名及び対象船舶について

表 1．2　2023 年度　事業者名及び対象船舶一覧（五十音順・2024 年 3 月現在）

2023年度

事業者名及び対象船舶一覧

（五十音順・2024年3月現在）

事業者名	対象船舶		
	船種	船型	隻数
(株)ユニエックスNCT	一般貨物船	499型	1
	コンテナ専用船	499型	1
鈴与海運(株)	一般貨物船	499型	5
	コンテナ専用船	749型	7
	コンテナ専用船	2,524型	1
井本商運(株)	コンテナ専用船	498型	3
	コンテナ専用船	499型	7
	コンテナ専用船	747型	1
	コンテナ専用船	749型	13
	コンテナ専用船	2,464型	1
	コンテナ専用船	2,479型	1
	コンテナ専用船	2,507型	1
	コンテナ専用船	7,390型	1
	コンテナ専用船	7,432型	1
	コンテナ専用船	7,658型	1
	コンテナ専用船	9,662型	2
近海郵船(株)*1	一般貨物船	499型	(1)
	RORO船	11,299型	2
	コンテナ専用船	749型	(6)
阪九フェリー(株)	フェリー	16,060	2
	フェリー	16,300	2
日本通運㈱	RORO船	10,470型	1
	RORO船	10,471型	1
	RORO船	10,497型	1
	RORO船	10,626型	2
（株）横浜コンテナライン*2	コンテナ専用船	749型	(1)
マツダロジスティクス(株)*3	コンテナ専用船	499型	(2)
	コンテナ専用船	749型	(1)

*1については鈴与海運（株）との共同運航であるため、隻数は鈴与海運（株）に含まれる。

*２については井本商運㈱からの専用配船であるため、隻数は井本商運㈱に含まれる。

*３については井本商運(株)との共同運航であるため、隻数は井本商運(株)に含まれる。

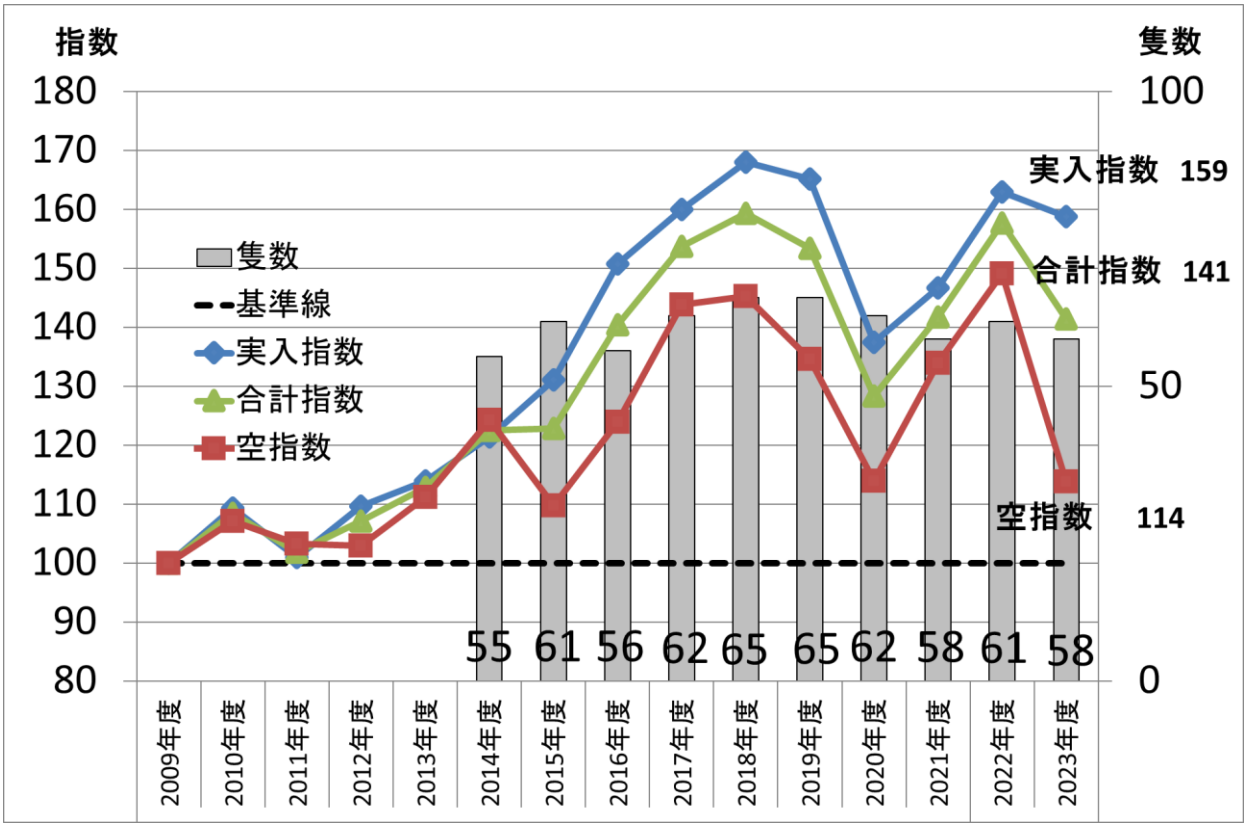
(4) 過去 5 年間の輸送実績推移

2023 年度のフィーダーコンテナの輸送量は 807,473 TEU で前年度の輸送量と比べ 10%減の 90%となった。このうち実入コンテナは 556,667TEU で前年度比 3%減の 97%、空コンテナは 250,806 TEU で前年度比 24%減の 76%であった。調査開始の 2009 年度の実績を 100 とする指数で表示すると、合計指数は 141、実入指数は 159、空指数は 114 となっている。輸送に関わる船腹量については、以下の棒グラフに示す通り 2021 年度水準となり 58 隻となった。

表 1．3 輸送実績の推移（単位：TEU）

種別/年度	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	前年度比
実入	578,864	481,854	514,053	571,377	556,667	97%
空	296,503	250,993	295,024	328,655	250,806	76%
実入指数	165	137	147	163	159	97%
空指数	135	114	134	149	114	76%
合計	875,367	732,847	809,077	900,032	807,473	90%
合計指数	153	128	142	158	141	90%
隻数	65	62	58	61	58	95%

図 2．1 輸送実績指数及び隻数の推移



(5) 地域別輸送量の推移

① 取扱量（積揚合計）の推移

2023 年度の内航フィーダーコンテナの取扱量（積と揚の合計）は 1,614,946TEU で前年度比 90%となった。

地域毎の割合を見ると関西が全体の 32%を占め、次いで関東が 22%、中国が 12%と続いている。前年度比で北海道、東北、中部、九州、関西は増加し、沖縄、四国、北陸、中国、関東が減少した結果、ここ 5 年間で見れば 2021 年度水準に次ぐ輸送量となった。

表 1．4　地域別輸送量の推移（単位：TEU）

積揚合計	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	前年度比	割合
北海道	53,500	54,500	59,956	39,661	53,799	136%	3%
東北	136,287	115,030	127,070	111,897	144,414	129%	9%
関東	365,953	338,921	361,359	504,257	359,920	71%	22%
中部	115,091	121,076	150,278	100,485	125,589	125%	8%
北陸	0	0	599	32,835	16,260	50%	1%
関西	565,086	451,669	493,653	504,180	511,864	102%	32%
四国	98,836	107,988	107,165	129,202	59,160	46%	4%
中国	297,385	155,663	165,328	235,626	198,668	84%	12%
九州	118,596	120,847	152,696	141,494	145,266	103%	9%
沖縄	0	0	50	427	6	1%	0%
合計	1,750,734	1,465,694	1,618,154	1,800,064	1,614,946	90%	100%

＊同一のコンテナを積と揚でそれぞれカウントしているため、輸送量の２倍になる。

② 積地別の推移

前年度比で九州、中部、北海道、中国、東北については増加が見られた一方、沖縄、四国、北陸、関東、関西は減少となった。とりわけ、九州については約 3 倍と高い伸びが見られた。

表 1．5 積地別輸送量の推移（単位：TEU）

積地	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	前年度比	割合
北海道	30,074	33,394	31,789	19,618	28,617	146%	4%
東北	68,839	58,377	64,025	72,608	74,214	102%	9%
関東	167,994	166,782	189,813	261,232	170,775	65%	21%
中部	70,431	61,819	70,010	45,145	68,388	151%	8%
北陸	0	0	247	20,479	8,604	42%	1%
関西	279,484	225,664	242,144	288,323	256,592	89%	32%
四国	50,945	55,386	57,213	71,659	29,458	41%	4%
中国	146,097	73,356	76,415	95,404	97,519	102%	12%
九州	61,503	58,069	77,401	25,137	73,302	292%	9%
沖縄	0	0	20	427	4	1%	0%
合計	875,367	732,847	809,077	900,032	807,473	90%	100%

③ 揚地別の推移

前年度比で東北、北海道、関西、中部は増加が見られた一方、沖縄、四国、九州、北陸、中国、関東は減少した。

表 1．6 揚地別輸送量の推移（単位：TEU）

揚地	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度	前年度比	割合
北海道	23,426	21,106	28,167	20,043	25,182	126%	3%
東北	67,448	56,653	63,045	39,289	70,200	179%	9%
関東	197,959	172,139	171,546	243,025	189,145	78%	23%
中部	44,660	59,257	80,268	55,340	57,201	103%	7%
北陸			352	12,356	7,656	62%	1%
関西	285,602	226,005	251,509	215,857	255,272	118%	32%
四国	47,891	52,602	49,952	57,543	29,702	52%	4%
中国	151,288	82,307	88,913	140,222	101,149	72%	13%
九州	57,093	62,778	75,295	116,357	71,964	62%	9%
沖縄	0	0	30	0	2	－	0%
合計	875,367	732,847	809,077	900,032	807,473	90%	100%

(6) 港別取扱量（積揚の合計）の前年度との比較

神戸港が前年度比 6%減となったものの 1 位に付け、横浜港も 2 位を維持した。仙台港が 3 位、東京港が 4 位と順位が逆転し、広島港は 5 位で変わらず。7 位→6 位の清水港、8 位→7 位の博多港、前年 6 位→8 位の苫小牧港と続く。前年度は大阪港、新居浜港がランクインしていたが、今年度は名古屋港、志布志港の 2 港と入れ替わる結果となった。

表 1．7　港別取扱量（2023 年度 【積+揚】輸送量，単位：TEU）

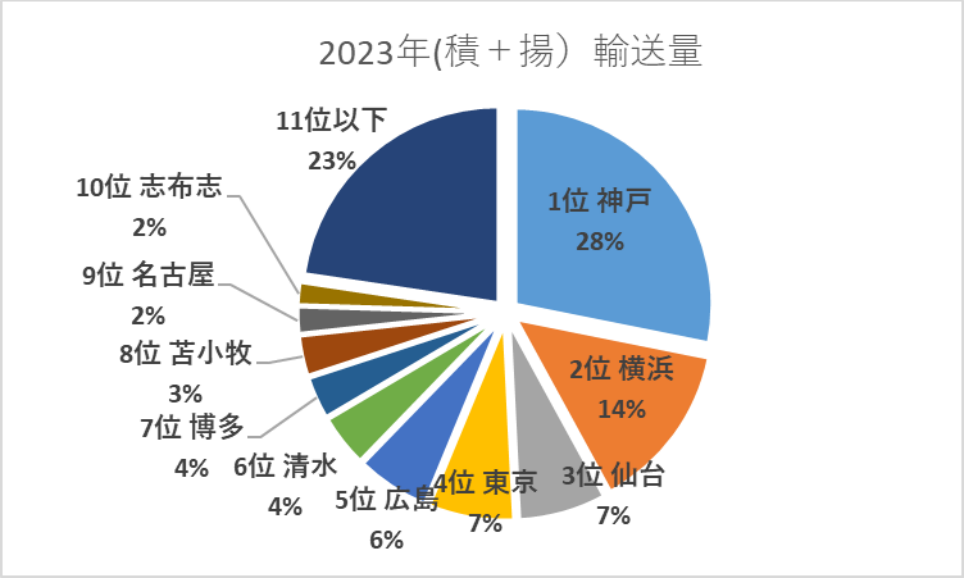
ランク	港名	2023 年度計	積/実入	積/空	揚/実	揚/空	前年度比	前年度
1 位	神戸	454,485	147,749	70,850	180,317	55,569	94%	483,204
2 位	横浜	224,459	78,612	25,601	75,957	44,289	87%	257,168
3 位	仙台	115,796	41,305	17,287	40,510	16,694	101%	114,728
4 位	東京	113,644	31,512	24,075	56,426	1,631	94%	120,548
5 位	広島	96,816	43,893	1,754	19,597	31,572	90%	108,152
6 位	清水	68,804	36,173	4,053	15,995	12,583	91%	75,522
7 位	博多	55,860	20,753	5,429	24,470	5,208	84%	66,622
8 位	苫小牧	53,555	9,089	19,408	20,866	4,192	65%	82,618
9 位	名古屋	35,642	17,009	372	5,203	13,058	102%	34,840
10 位	志布志	30,313	7,871	8,395	13,133	914	107%	28,342
10 位まで		1,249,374	433,966	177,224	452,474	185,710	90%	1,392,746
11 位以下		365,572	122,701	73,582	104,193	65,096	90%	407,318
計		1,614,946	556,667	250,806	556,667	250,806	90%	1,800,064

＊2022 年度データについて今回修正があり、前回発表時から内容が変更となっている。

表 1．8　港別取扱量（2022 年度 【積+揚】輸送量，単位：TEU）

ランク	港名	2022 年度計	積/実入	積/空	揚/実入	揚/空	前年度比	前年度
1 位	神戸	483,204	122,867	103,497	197,692	59,148	112%	431,712
2 位	横浜	257,168	104,969	26,123	62,691	63,385	119%	216,841
3 位	東京	120,548	33,263	32,374	51,785	3,126	130%	92,833
4 位	仙台	114,728	40,174	18,500	37,454	18,600	110%	103,922
5 位	広島	108,152	45,342	1,036	15,772	46,002	139%	77,534
6 位	苫小牧	82,618	9,985	28,672	37,838	6,123	138%	59,877
7 位	清水	75,522	29,431	9,853	23,193	13,045	105%	71,992
8 位	博多	66,622	18,850	11,094	33,036	3,642	117%	56,971
9 位	大阪	45,121	5,415	28,827	7,737	3,142	99%	45,621
10 位	新居浜	39,063	17,539	3,121	4,029	14,374	107%	36,634
10 位まで		1,392,746	427,835	263,097	471,227	230,587	117%	1,193,937
11 位以下		407,318	143,542	65,558	100,150	98,068	96%	424,217
計		1,800,064	571,377	328,655	571,377	328,655	111%	1,618,154

図　1．2　2023 年度　【積+揚】輸送量割合



(7) 各事業社からの特記事項

- 大井⇔仙台・・・コロナ影響による自動車部品生産減少からの回復による取扱い物量増。
  大井発空コン回送回避（他港からの回送増）による空コン取扱量減。

- 輸入コンテナ量の減少から内航船による空コンテナの回送輸送が大幅減少した。

- トレーラーシャーシによる輸送がメインであり、コンテナでの内貿貨物はほとんどありません。

２． 内航フィーダー概況トピックス

- 2023 年度内航フィーダー輸送量（807,473TEU）は、前年度がコロナ禍からの回復並びに自動車部品の供給制約の解消を受けて増加となったものの一転し、減少となった。前年度比で実入り 97%、空 76%、合計で 90%となった。過去との比較においては 2021 年度（809,077TEU）に次ぐ水準となった。

- 実入り貨物減少要因の一つとして、2023 年 8 月に福島第一原子力発電所の処理水海洋放出を受けて、放出に反対する中国政府は日本産水産物の輸入を全面的に停止したことも、貨物量の減少に影響を及ぼすこととなった。

- また、空コンテナの国内間送については、中国・アジア諸国からの輸出が落ち着きを見せたことにより、母船での日本主要港への供給量が回復したため、内航コンテナ船による国内ポジショニングが減少したと考えられる。

３． 韓国フィーダーの現況（未更新）（BPA のデータが更新されていないため前年度の内容を掲載）

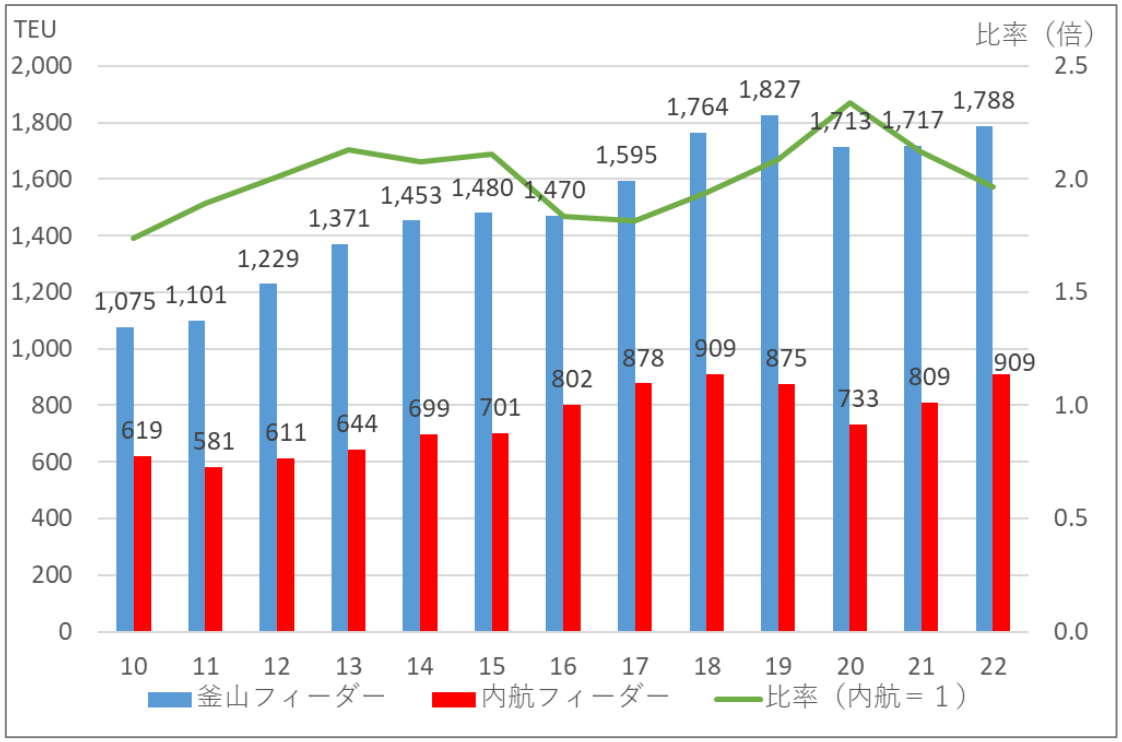


図 ３．１ 内航フィーダーと釜山フィーダーの輸送量（出典：釜山港湾公社（BPA））
（内航フィーダーは年度実績、釜山フィーダーは暦年実績）

※最新のデータは釜山港湾公社（BPA）：https://busanpa.com/eng/Board.do?mCode=MN0043

2022 年（1 月～12 月）の釜山フィーダーの輸送量は 1,788 千 TEU で、前年に比べて 4.2%増加したが、2022 年度の内航フィーダー輸送量が前年度比約 12%増の 909 千 TEU で、釜山フィーダーを上回る輸送量増加となり、両者の差は 1.97 倍と前年に続いて縮小した。

釜山港での 2022 年(1 月～12 月)のコンテナ貨物取扱総量は前年比 2.8%減の 22,078 千 TEU と 2 年ぶりに減少に転じた。ロシアによるウクライナ侵攻を発端とする原油高や世界経済の減速等によるものと考えられる。

釜山港の TS 貨物は、日本は中国、米国に次いで第 3 位のコンテナ取扱量となったが、米国と概ね同水準で推移していることに変化はない。2022 年の日本の TS 貨物は 4.2%増の 1,788 千 TEU となっている。

韓国国内で取り扱う外貿コンテナ貨物量は、年間約 3000 万 TEU で、そのうち釜山港の取扱量は 2207 万 TEU（22 年）。国内で取り扱う外貿貨物の 7 割以上が同港を利用していることになる。

釜山港全体の貨物量に着目すると、TS 貨物が 54%、輸出入貨物が 46%。TS、輸出入貨物の両方で年間 1000 万 TEU 以上の貨物取り扱いがある。

４． 内貿コンテナ貨物輸送調査結果について

今回よりフィーダーコンテナ輸送の対象事業者に対して報告をお願いした結果、3 社から回答を得た。内貿貨物調査も実施した結果、輸送量は 49,578TEU となり積地・揚地別による集計した結果は以下となった。また、当初想定していた 12 フィート、31 フィート、その他フィートのコンテナは実績がなかった。

表 ４.９内貿貨物調査結果（積地別、単位：TEU、40‘は 2 倍で換算）

積地地域	20'実入り	40'実入り	実入り計	20'空	40'空	空計	20'計	40'計	計
北海道	1,045	856	**1,901**	97	3,012	**3,109**	1,142	3,868	**5,010**
東北	3	240	**243**	309	0	**309**	312	240	**552**
関東	5,737	3,000	**8,737**	3,579	354	**3,933**	9,316	3,354	**12,670**
中部	466	2,596	**3,062**	579	210	**789**	1,045	2,806	**3,851**
北陸	28	30	**58**	1,705	24	**1,729**	1,733	54	**1,787**
関西	400	1,856	**2,256**	4,709	4,142	**8,851**	5,109	5,998	**11,107**
四国	0	180	**180**	230	2,812	**3,042**	230	2,992	**3,222**
中国	6,146	1,522	**7,668**	1,615	828	**2,443**	7,761	2,350	**10,111**
九州	345	268	**613**	645	10	**655**	990	278	**1,268**
計	14,170	10,548	**24,718**	13,468	11,392	**24,860**	27,638	21,940	**49,578**

表 ４.１０内貿貨物調査結果（揚地別、単位：TEU40‘は 2 倍で換算）

揚地地域	20'実入り	40'実入り	実入り計	20'空	40'空	空計	20'計	40'計	計
北海道	351	2,836	**3,187**	703	182	**885**	1,054	3,018	**4,072**
東北	293	0	**293**	3	2	**5**	296	2	**298**
関東	5,862	3,114	**8,976**	2,512	3,116	**5,628**	8,374	6,230	**14,604**
中部	287	126	**413**	639	18	**657**	926	144	**1,070**
北陸	1,532	52	**1,584**	13	24	**37**	1,545	76	**1,621**
関西	1,861	2,214	**4,075**	1,737	5,462	**7,199**	3,598	7,676	**11,274**
四国	11	96	**107**	386	1,224	**1,610**	397	1,320	**1,717**
中国	3,439	1,594	**5,033**	6,587	1,078	**7,665**	10,026	2,672	**12,698**
九州	534	516	**1,050**	888	286	**1,174**	1,422	802	**2,224**
計	14,170	10,548	**24,718**	13,468	11,392	**24,860**	27,638	21,940	**49,578**

付　　録

付　録　目　次

調査依頼書について 1
回答票について ..... 2～5

1.　(1)　積地による集計結果（2023 年度） 6
　　(2)　積地による集計結果　コンテナ（2021～2023 年度比較） 7
2.　(1)　揚地による集計結果（2023 年度） 8
　　(2)　揚地による集計結果　コンテナ（2021～2023 年度比較） 9
3.　(1)　積地・揚地・コンテナ（20FT・40FT）別による集計結果 10

内航総連 第２号
令和６年４月22日

フィーダーコンテナ輸送等
対象船社　社　長　様

日本内航海運組合総連合会
会　長　　栗　林　宏　吉

内航船によるﾌｨｰﾀﾞｰｺﾝﾃﾅ輸送並びに内貿貨物調査について（お願い）

拝啓　穀雨の候、貴社におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

題記の調査については、国際コンテナ戦略港湾で、スポークとなる国内フィーダー事業者が担う外航コンテナ二次輸送の重要性が指摘されているところでもあり、内航フィーダーの充実強化に係る種々施策の必要性を主張していく上で、本調査報告は今後益々貴重な価値を持つものと思料致します。また、今回は物流の2024年問題を踏まえ国内コンテナ輸送の現状把握を目的として「内貿貨物」についても調査することとなりました。

つきましては、令和５年度（令和５年４月１日～令和６年３月31日）における輸送量について、調査を下記の通り実施する運びとなりました。

ご担当者様には大変恐縮ですが、別添の回答票（Excelファイル）のコンテナフィーダー・内貿貨物シート別にてご回答頂き、メールでご返信を頂きたくお願い申し上げます。

なお、ご回答頂いた内容に関しては輸送数量については公表を予定しておりますが、ご回答内容のデータ等は本調査の目的以外には利用せず、機密保持など、その取扱いには万全を期して実施致します。　　敬具

記

1. 提　出　期　限：令和６年５月20日（月）
2. 回　答　内　容：
   ①　実際に輸送したコンテナ数量のうち、
   　　国内用コンテナを除いた外航コンテナの二次輸送によるコンテナ数量
   ②　内貿貨物のコンテナ数量（RORO船によるシャーシ輸送されいているものを除く）
3. 共同運航されている事業者様の「重複データ」に関する報告の防止について
   同一船舶を共同で運航されている事業者様の場合、予めご担当者様の間で「重複しているデータ」について相互にご確認を頂いた上、当該データについては何れか一方の事業者様からのご報告を賜りますようお願い申し上げます。
4. 問い合わせ　：日本内航海運組合総連合会　企画調査部　平田京子
   提　出　先　メールアドレス　hira@naiko-kaiun.or.jp　TEL　03-3263-4630

以上

提出先：日本内航海運組合総連合会　　企画調査部　平田　hira@naiko-kaiun.or.jp

内航船によるフィーダーコンテナ輸送量調査回答票

貴社名

TEL　　FAX

e-mail　　御担当者名

1．以下、使用船舶についてご記入下さい。10隻以上ある場合は行をコピーをしてご記入下さい。

船種は必ず表示されるリストより選択してください。（船種が自動で表示されない場合は、キーボードの「F9」ボタンを押してください）

【 使用船舶 】				
NO	船種	船名または船舶番号	船型	単位
1				GT型
2				GT型
3				GT型
4				GT型
5				GT型
6				GT型
7				GT型
8				GT型
9				GT型
10				GT型

船種
一般貨物船
コンテナ船
RORO船
フェリー
その他

2．以下、輸送されたコンテナの個数を各欄にご記入下さい。10件以上ある場合は行をコピーをして下さい。

TEU'は20'換算のことを言います。

TEUには40'の個数に2を乗じた個数と20'の個数の合計した個数を入力して下さい。

例えば、No1は【実入りコンテナ】のTEUには（TEU＝E34＋F34＊2）、【空コンテナ】のTEUには（TEU=H34＋I34＊2）

【合計】のTEUはSUM関数で合計して下さい。

【 積地･揚地別 】			【 実入りコンテナ 】			【 空コンテナ 】			【 合 計 】		
NO	積地	揚地	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU
1					0			0	0	0	0
2					0			0	0	0	0
3					0			0	0	0	0
4					0			0	0	0	0
5					0			0	0	0	0
6					0			0	0	0	0
7					0			0	0	0	0
8					0			0	0	0	0
9					0			0	0	0	0
10					0			0	0	0	0

特 記 事 項
前年度と比べて個数の増減等変化が見られたものに対して明確な理由等がございましたらご記入下さい。

以上、ありがとうございました。

提出先：日本内航海運組合総連合会　　企画調査部　平田　hira@naiko-kaiun.or.jp

内航船による内貿貨物輸送量調査回答票

貴社名

TEL　　FAX

e-mail　　御担当者名

1. 以下、使用船舶についてご記入下さい。10隻以上ある場合は行をコピーをしてご記入下さい。

船種は必ず表示されるリストより選択してください。（船種が自動で表示されない場合は、キーボードの「F9」ボタンを押してください）

【 使用船舶 】				
NO	船種	船名または船舶番号	船型	単位
1	一般貨物船	路未央丸	498	499GT型
2	一般貨物船	未羅乃	499	499GT型
3	コンテナ船	宝愛瑠	749	799GT型
4	コンテナ船	星音丸	2,200	2200GT型
5	その他	琉絆空丸	3,150	3150GT型
6				GT型
7				GT型
8				GT型
9				GT型
10				GT型

船種
一般貨物船
コンテナ船
RORO船
フェリー
その他

2. 以下、輸送されたコンテナの個数を各欄にご記入下さい。10件以上ある場合は行をコピーをして下さい。

TEU'は20'換算のことを言います。

TEUには40'の個数に2を乗じた個数と20'の個数の合計した個数を入力して下さい。

例えば、No1は【実入りコンテナ】のTEUには（TEU＝E34＋F34＊2）、【空コンテナ】のTEUには（TEU=H34＋I34＊2）

【合計】のTEUはSUM関数で合計して下さい。

【 積地・揚地別 】			【 実入りコンテナ 】			【 空コンテナ 】			【 合 計 】		
NO	積地	揚地	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU
1	横浜	苫小牧	555	1,248	3,051	200	278	756	755	1,526	3,807
2	神戸	博多	70	76	222	2,448	735	3,918	2,518	811	4,140
3	神戸	福山	1,500	738	2,976	55	32	119	1,555	770	3,095
4	神戸	門司	832	425	1,682	198	55	308	1,030	480	1,990
5	ひびき	門司	112	756	1,624	345	38	421	457	794	2,045
6	志布志	八代	48	488	1,024	287	230	747	335	718	1,771
7	宇部	門司	248	302	852	87	154	395	335	456	1,247
8	神戸	和歌山	323	198	719	132	100	332	455	298	1,051
9											
10											

特記事項
前年度と比べて個数の増減等変化が見られたものに対して明確な理由等がございましたらご記入下さい。

以上、ありがとうございました。

1. (1) 積地による集計結果(2023年度)

積 地	実入コンテナ			空コンテナ			合 計			地域別割合(%)
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	1,003	4,043	9,089	552	8,322	19,528	3,887	12,365	28,617	4%
東北	3,325	22,404	48,133	3,136	10,701	26,081	8,004	33,105	74,214	9%
関東	17,890	49,146	116,182	6,813	24,253	54,593	23,977	73,399	170,775	21%
中部	5,939	26,973	59,885	3,570	2,934	8,503	8,574	29,907	68,388	8%
北陸	202	621	1,444	1,170	3,071	7,160	1,220	3,692	8,604	1%
関西	20,779	70,336	161,451	17,492	39,250	95,141	37,420	109,586	256,592	32%
四国	5,396	8,147	21,690	2,580	2,883	7,768	7,398	11,030	29,458	4%
中国	12,043	37,868	87,779	3,399	3,297	9,740	15,189	41,165	97,519	12%
九州	8,664	21,173	51,010	4,860	8,905	22,292	13,146	30,078	73,302	9%
沖縄	0	2	4	1	0	0	0	2	4	0%
総計	75,241	240,713	556,667	43,573	103,616	250,806	118,815	344,329	807,473	100%

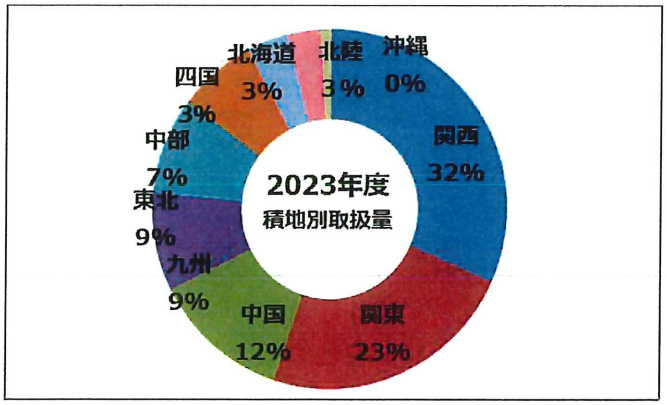
※沖縄は実績はあるが地域別割合(%)は0%となる。

[地域別]

北海道: 北海道
東 北 : 青森、岩手、宮城、秋田、福島
関 東 : 東京、神奈川、茨城、千葉
中 部 : 静岡、愛知、三重
北 陸 : 福井、新潟
関 西 : 大阪、兵庫、和歌山、京都
四 国 : 香川、愛媛、徳島、高知
中 国 : 広島、岡山、山口、鳥取
九 州 : 福岡、大分、宮崎、鹿児島
熊本、長崎、佐賀
沖 縄 : 那覇

[積地港別]

北海道: 苫小牧、釧路
東 北 : 仙台、八戸、釜石、大船渡、秋田、小名浜
関 東 : 東京、大井、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島
中 部 : 名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
北 陸 : 敦賀、富山、新潟
関 西 : 神戸、大阪、姫路、和歌山、泉大津、堺泉北、舞鶴
四 国 : 今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、
高松、高知
中 国 : 水島、徳山、広島、岩国、大竹、宇部、玉島、
福山、三田尻中関、境港、中関
九 州 : 博多、大分、志布志、新門司、門司、ひびき、細島
油津、八代、長崎、薩摩川内、伊万里
沖 縄 : 那覇



1.(2) 積地による集計結果 コンテナ（合計･実入･空）別 2021～2023年度比較

【合計】

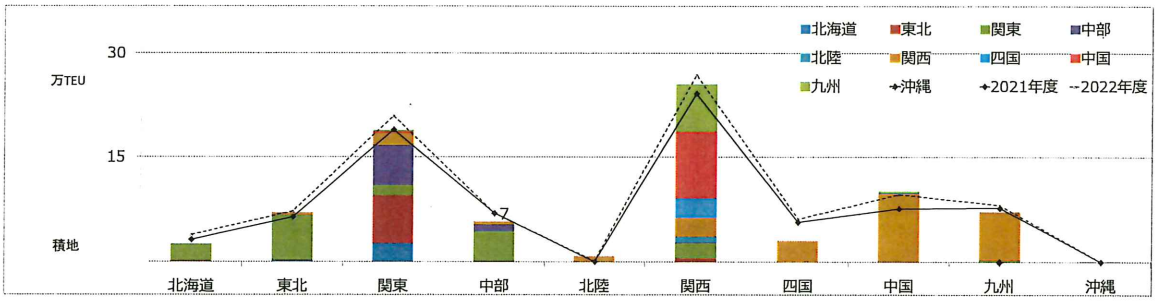
積地/揚地	北海道	東北	関東	中部	北陸	関西	四国	中国	九州	沖縄	2021年度	2022年度	2023年度	前年比	前々年比
北海道	224	1,891	26,502								31,789	38,657	28,617	74%	90%
東北	1,238	419	68,075	52	34	4,368		28			64,025	72,459	74,214	102%	116%
関東	23,712	64,120	15,211	43,479		22,251		93	1,909		189,813	209,616	170,775	81%	90%
中部	6		57,387	9,876		1,041			78		70,010	69,653	68,388	98%	98%
北陸		20		4	14	8,319		185	62		247	1,346	8,604	639%	3483%
関西	2	3,749	17,524	3,732	7,527	27,117	29,662	97,884	69,395		242,144	268,741	256,592	95%	106%
四国			56			28,095		1,307			57,213	61,343	29,458	48%	51%
中国			1,880			95,610		25	4		76,415	96,775	97,519	101%	128%
九州		1	2,510	58	81	68,471	40	1,627	512	2	77,401	81,442	73,302	90%	95%
沖縄									4		20	0	4	－	20%
計	25,182	70,200	189,145	57,201	7,656	255,272	29,702	101,149	71,964	2	809,077	900,032	807,473	90%	100%

【実入コンテナ】

積地/揚地	北海道	東北	関東	中部	北陸	関西	四国	中国	九州	沖縄	2021年度	2022年度	2023年度	前年比	前々年比
北海道	0	28	9,061								8,598	9,985	9,089	91%	106%
東北	6	0	45,165	0	0	2,962		0			43,835	47,557	48,133	101%	110%
関東	20,852	48,421	9,387	19,573		16,529		3	1,417		122,702	144,129	116,182	81%	95%
中部	6		53,138	6,703		2			36		54,051	53,389	59,885	112%	111%
北陸		0		4	0	1,378		0	62		22	196	1,444	737%	6564%
関西	2	3,560	17,358	83	7,484	16,344	17,508	45,274	53,838		117,779	130,481	161,451	124%	137%
四国			56			21,634		0			43,349	44,087	21,690	49%	50%
中国			1,880			85,899		0	0		69,288	88,475	87,779	99%	127%
九州		0	2,390	18	78	48,452	0	0	70	2	54,425	53,078	51,010	96%	94%
沖縄									4		4	0	4	－	－
計	20,866	52,009	138,435	26,381	7,562	193,200	17,508	45,277	55,427	2	514,053	571,377	556,667	111%	108%

【空コンテナ】

積地/揚地	北海道	東北	関東	中部	北陸	関西	四国	中国	九州	沖縄	2021年度	2022年度	2023年度	前年比	前々年比
北海道	224	1,863	17,441								23,191	28,672	19,528	68%	84%
東北	1,232	419	22,910	52	34	1,406		28			20,190	24,902	26,081	105%	129%
関東	2,860	15,699	5,824	23,906		5,722		90	492		67,111	65,487	54,593	83%	81%
中部	0		4,249	3,173		1,039			42		15,959	16,264	8,503	52%	53%
北陸		20		0	14	6,941		185	0		225	1,150	7,160	623%	3182%
関西	0	189	166	3,649	43	10,773	12,154	52,610	15,557		124,365	138,260	95,141	69%	77%
四国			0			6,461		1,307			13,864	17,256	7,768	45%	56%
中国			0			9,711		25	4		7,127	8,300	9,740	117%	137%
九州		1	120	40	3	20,019	40	1,627	442	0	22,976	28,364	22,292	79%	97%
沖縄									0		16	0	0	－	－
計	4,316	18,191	50,710	30,820	94	62,072	12,194	55,872	16,537	0	295,024	328,655	250,806	76%	85%



2. (1) 揚地による集計結果(2023年度)

揚　地	実入コンテナ			空コンテナ			合　計			地域別割合(%)
	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	20'	40'	TEU	
北海道	3,168	8,849	20,866	1,140	1,588	4,316	4,316	4,316	25,182	3%
東北	5,803	23,103	52,009	1,625	8,283	18,191	18,191	18,191	70,200	9%
関東	14,951	61,742	138,435	10,218	20,246	50,710	50,710	50,710	189,145	23%
中部	4,715	10,833	26,381	2,076	14,372	30,820	30,820	30,820	57,201	7%
北陸	796	3,383	7,562	26	34	94	94	94	7,656	1%
関西	28,114	82,543	193,200	12,194	24,939	62,072	62,072	62,072	255,272	32%
四国	2,522	7,493	17,508	4,798	3,698	12,194	12,194	12,194	29,702	4%
中国	5,459	19,909	45,277	7,912	23,980	55,872	55,872	55,872	101,149	13%
九州	9,713	22,857	55,427	3,585	6,476	16,537	16,537	16,537	71,964	9%
沖縄	0	1	2	0	0	0	0	0	2	0%
総計	75,241	240,713	556,667	43,574	103,616	250,806	250,806	250,806	807,473	100%

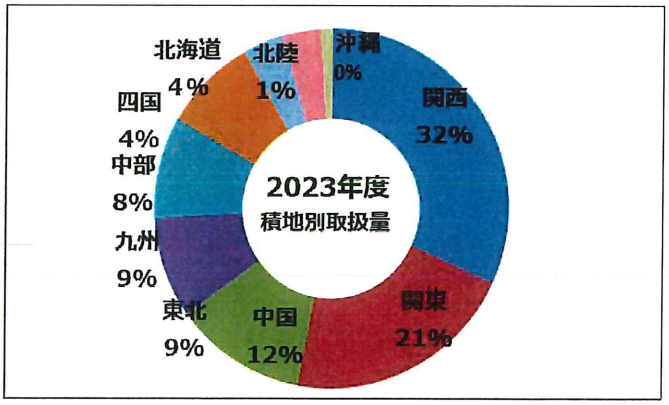
※沖縄は実績はあるが地域別割合(%)は0%となる。

[地域別]

北海道: 北海道
東　北：青森、岩手、宮城、秋田、福島
関　東：東京、神奈川、茨城、千葉
中　部：静岡、愛知、三重
北　陸：福井、新潟
関　西：大阪、兵庫、和歌山、京都
四　国：香川、愛媛、徳島、高知
中　国：広島、岡山、山口、鳥取
九　州：福岡、大分、宮崎、鹿児島
　　熊本、長崎、佐賀
沖　縄：那覇

[積地港別]

北海道: 苫小牧、釧路
東　北：仙台、八戸、釜石、大船渡、秋田、小名浜
関　東：東京、大井、横浜、川崎、常陸那珂、鹿島
中　部：名古屋、清水、御前崎、豊橋、四日市
北　陸：敦賀、富山、新潟
関　西：神戸、大阪、姫路、和歌山、泉大津、舞鶴
四　国：今治、松山、新居浜、徳島、伊予三島、
　　高松、高知
中　国：水島、徳山、広島、岩国、大竹、宇部、玉島、
　　福山、三田尻中関、境港、中関
九　州：博多、大分、志布志、ひびき、新門司、門司、
　　細島、油津、八代、長崎、薩摩川内、伊万里
沖　縄：那覇



2.(2) 揚地による集計結果　コンテナ（合計・実入・空）別 2021～2023年度比較

【合計】

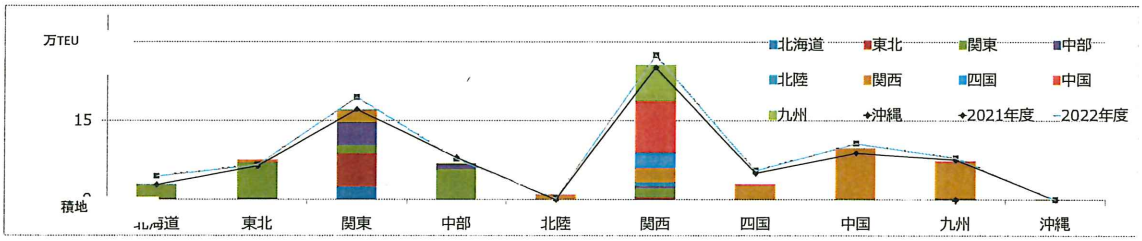
揚地/積地	北海道	東北	関東	中部	北陸	関西	四国	中国	九州	沖縄	2021年度	2022年度	2023年度	前年比	前々年比
北海道	224	1,238	23,712	6		2					28,167	43,961	25,182	57%	89%
東北	1,891	419	64,120		20	3,749			1		63,045	66,391	70,200	106%	111%
関東	26,502	68,075	15,211	57,387		17,524	56	1,880	2,510		171,546	194,550	189,145	97%	110%
中部		52	43,479	9,876	4	3,732			58		80,268	77,094	57,201	74%	71%
北陸		34			14	7,527			81		352	1,702	7,656	450%	2175%
関西		4,368	22,251	1,041	8,319	27,117	28,095	95,610	68,471		251,509	274,743	255,272	93%	101%
四国						29,662			40		49,952	55,395	29,702	54%	59%
中国		28	93		185	97,884	1,307	25	1,627		88,913	106,827	101,149	95%	114%
九州			1,909	78	62	69,395		4	512	4	75,295	79,369	71,964	91%	96%
沖縄									2		30	0	2	－	－
計	28,617	74,214	170,775	68,388	8,604	256,592	29,458	97,519	73,302	4	809,077	900,032	807,473	90%	100%

【実入コンテナ】

揚地/積地	北海道	東北	関東	中部	北陸	関西	四国	中国	九州	沖縄	2021年度	2022年度	2023年度	前年比	前々年比
北海道	0	6	20,852	6		2					23,781	37,838	20,866	55%	88%
東北	28	0	48,421		0	3,560			0		39,774	45,002	52,009	116%	131%
関東	9,061	45,165	9,387	53,138		17,358	56	1,880	2,390		115,888	124,840	138,435	111%	119%
中部		0	19,573	6,703	4	83			18		40,046	38,241	26,381	69%	66%
北陸		0			0	7,484			78		350	1,616	7,562	468%	2161%
関西		2,962	16,529	2	1,378	16,344	21,634	85,899	48,452		193,731	210,780	193,200	92%	100%
四国						17,508			0		18,981	21,741	17,508	81%	92%
中国		0	3		0	45,274	0	0	0		28,805	31,608	45,277	143%	157%
九州			1,417	36	62	53,838		0	70	4	52,671	59,711	55,427	93%	105%
沖縄									2		26	0	2	－	－
計	9,089	48,133	116,182	59,885	1,444	161,451	21,690	87,779	51,010	4	514,053	571,377	556,667	97%	108%

【空コンテナ】

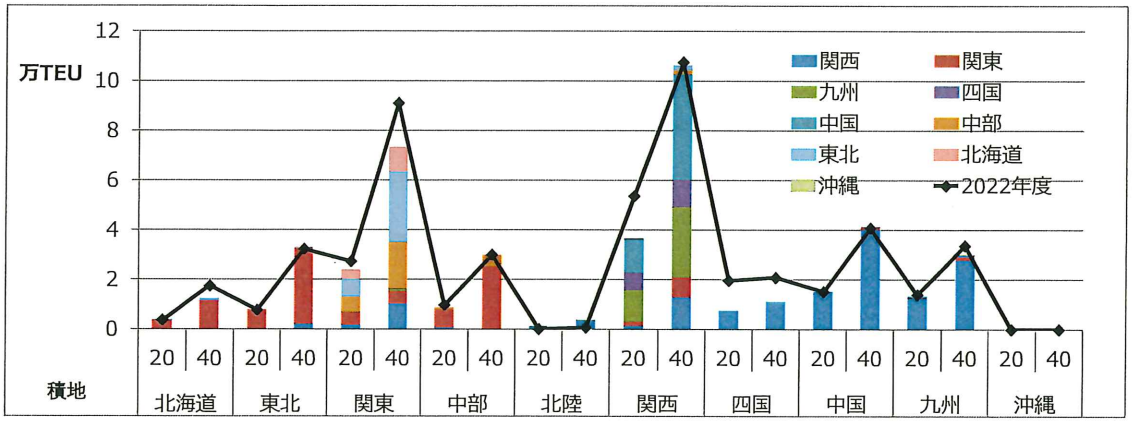
揚地/積地	北海道	東北	関東	中部	北陸	関西	四国	中国	九州	沖縄	2021年度	2022年度	2023年度	前年比	前々年比
北海道	224	1,232	2,860	0		0					4,386	6,123	4,316	70%	98%
東北	1,863	419	15,699		20	189			1		23,271	21,389	18,191	85%	78%
関東	17,441	22,910	5,824	4,249		166	0	0	120		55,658	69,710	50,710	73%	91%
中部		52	23,906	3,173	0	3,649			40		40,222	38,853	30,820	79%	77%
北陸		34			14	43			3		2	86	94	109%	4700%
関西		1,406	5,722	1,039	6,941	10,773	6,461	9,711	20,019		57,778	63,963	62,072	97%	107%
四国						12,154			40		30,971	33,654	12,194	36%	39%
中国		28	90		185	52,610	1,307	25	1,627		60,108	75,219	55,872	74%	93%
九州			492	42	0	15,557		4	442	0	22,624	19,658	16,537	84%	73%
沖縄									0		4	0	0	－	－
計	19,528	26,081	54,593	8,503	7,160	95,141	7,768	9,740	22,292	0	295,024	328,655	250,806	76%	85%

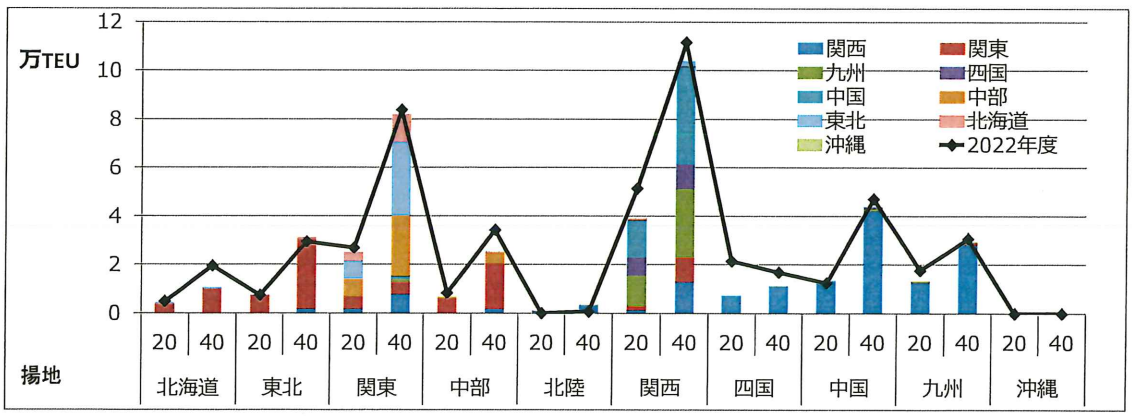


3. 積地・揚地・コンテナ（２０FT・４０FT）別による集計結果

(1) 積地別

積地/揚地	コンテナ(ft)	北海道	東北	関東	中部	北陸	関西	四国	中国	九州	沖縄	2022年度	2023年度	前年比
北海道	20	200	109	3,578								3,617	3,887	107%
	40	12	891	11462								17,520	12,365	71%
東北	20	330	7	7493	0	0	174		0			7,721	8,004	104%
	40	454	206	30291	26	17	2097		14			32,369	33,105	102%
関東	20	3778	7152	5133	5931		1793		1	189		27,382	23,977	88%
	40	9,967	28,484	5,039	18,774		10,229		46	860		91,117	73,399	81%
中部	20	0		7161	714		685			14		9,715	8,574	88%
	40	3		25113	4581		178			32		29,969	29,907	100%
北陸	20		0		4	0	1193		5	18		80	1,220	1525%
	40		10		0	7	3563		90	22		633	3,692	583%
関西	20	0	159	1,712	142	811	1,251	7,320	13,300	12,725		53,663	37,420	70%
	40	1	1,795	7,906	1,795	3,358	12,933	11,171	42,292	28,335		107,539	109,586	102%
四国	20			0			7389		9			19,651	7,398	38%
	40			28			10,353		649			20,846	11,030	53%
中国	20			2			15,172		15	0		15,201	15,189	100%
	40			939			40,219		5	2		40,787	41,165	101%
九州	20		1	90	0	11	12,651	0	41	352	0	13,974	13,146	94%
	40		0	1,210	29	35	27,910	20	793	80	1	33,734	30,078	89%
沖縄	20									0		0	0	－
	40									2		0	2	－
計		14,745	38,814	107,157	31,996	4,239	147,790	18,511	57,260	42,631	1	525,518	463,144	88%



(2) 揚地別

揚地/積地	コンテナ(ft)	北海道	東北	関東	中部	北陸	関西	四国	中国	九州	沖縄	2022年度	2023年度	前年比
北海道	20	200	330	3,778	0		0					4,881	4,308	88%
	40	12	454	9,967	3		1					19,540	10,437	53%
東北	20	109	7	7,152		0	159			1		7,373	7,428	101%
	40	891	206	28,484		10	1,795			0		29,509	31,386	106%
関東	20	3,578	7,493	5,133	7,161		1,712	0	2	90		26,946	25,169	93%
	40	11,462	30,291	5,039	25,113		7,906	28	939	1,210		83,802	81,988	98%
中部	20		0	5,931	714	4	142			0		8,456	6,791	80%
	40		26	18,774	4,581	0	1,795			29		34,319	25,205	73%
北陸	20		0			0	811			11		80	822	1028%
	40		17			7	3,358			35		811	3,417	421%
関西	20		174	1,793	685	1,193	1,251	7,389	15,172	12,651		51,371	40,308	78%
	40		2,097	10,229	178	3,563	12,933	10,353	40,219	27,910		111,686	107,482	96%
四国	20						7,320			0		21,583	7,320	34%
	40						11,171			20		16,906	11,191	66%
中国	20		0	1		5	13,300	9	15	41		12,581	13,371	106%
	40		14	46		90	42,292	649	5	793		47,123	43,889	93%
九州	20			189	14	18	12,725		0	352	0	17,733	13,298	75%
	40			860	32	22	28,335		2	80	2	30,818	29,333	95%
沖縄	20									0		0	0	－
	40									1		0	1	－
計		16,252	41,109	97,376	38,481	4,912	147,006	18,428	56,354	43,224	2	525,518	463,144	88%